

| | | |
|--|----|----------------|
| | 公表 | 事業所における自己評価総括表 |
|--|----|----------------|

| | | | |
|----------------|-------------|----|----------------|
| ○事業所名 | クローバーふたば | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2025年12月26日 | | ～ 2026年1月9日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 48 | (回答者数) 16 |
| ○従業者評価実施期間 | 2026年2月3日 | | ～ 2026年2月9日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 7 | (回答者数) 7 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年3月30日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|---|--|
| 1 | 関連園の児童が多く利用されていることもあり、園との情報共有や利用についての相談などはしやすい点。 | 関連園については各園の園長や主任、担任とも連絡を取り、保護者の方が困っていること、最近の園での様子等を聞きつつ、活動に反映すること。 直近での園での様子、困りごとの共有などがスムーズにできること。 | 法人内でもクローバーの事業をより知ってもらい、また保護者についても気軽に足を運んでいただける機会を持ちたいと考え、関連園が実施するサマースクール、子ども祭りでの事業所開放をR7年度より実施。 R8年度以降も継続して実施予定 |
| 2 | 働いている方が下野市内でも8割超となる中、児童発達支援及び放課後等デイサービスにおいて、送迎対応を実施している点。 | 下野市外においても一部送迎できる地域についてはニーズがあれば実施できている(上三川町の一部) | 同じエリアに複数、事業所ができたので送迎等について協力しながら実施できている |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと感じられること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|-----------------------------|---|
| 1 | 各種内部の規則・マニュアル部分の浸透 | BCPやほかの規程類についても再度見直しを行っている。 | 定期的に職員会議時に、都度、マニュアルや規定類の確認を行う時間を設けていきたい |
| 2 | | | |

保護者等向け 児童発達支援評価表

公表日:

事業所名: 児童発達支援 クローバーふたば

対象人数 (保護者) 32人 回答者数 10人 回収 31.3%

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | ご意見 |
|----------|---|---|----|---------------|-----|-------|-----|
| 環境・体制整備 | ① | こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 7 | 1 | | 2 | |
| | ② | 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 10 | | | | |
| | ③ | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 9 | | | 1 | |
| | ④ | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 9 | | | 1 | |
| 適切な支援の提供 | ⑤ | こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 10 | | | | |
| | ⑥ | 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 9 | | | 1 | |
| | ⑦ | こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 10 | | | | |
| | ⑧ | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 9 | | | 1 | |
| | ⑨ | 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 10 | | | | |
| | ⑩ | 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 9 | | | 1 | |
| | ⑪ | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。 | 8 | | 1 | 1 | |
| 保護者への説明等 | ⑫ | 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 9 | | | 1 | |
| | ⑬ | 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 10 | | | | |
| | ⑭ | 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 6 | | 1 | 3 | |
| | ⑮ | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。 | 9 | 1 | | | |
| | ⑯ | 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 9 | 1 | | | |
| | ⑰ | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 10 | | | | |
| | ⑱ | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。 | 4 | | 3 | 3 | |
| | ⑲ | こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 8 | | 1 | 1 | |
| | ⑳ | こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 9 | | | 1 | |
| | ㉑ | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。 | 8 | | | 2 | |
| 非常時の対応 | ㉒ | 個人情報取り扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 10 | | | | |
| | ㉓ | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 6 | 1 | 1 | 2 | |
| | ㉔ | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 5 | 1 | | 4 | |
| | ㉕ | 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 8 | | | 2 | |
| 満足度 | ㉖ | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 8 | | | 2 | |
| | ㉗ | こどもは安心感をもって通所していますか。 | 10 | | | | |
| | ㉘ | こどもは通所を楽しみにしていますか。 | 9 | 1 | | | |
| | ㉙ | 事業所の支援に満足していますか。 | 9 | 1 | | | |

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | 児童発達支援 クローバーふたば | | 公表日 | 2026年3月30日 | | |
|---------|-----------------|---|-----|------------|--|---|
| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 4 | 3 | 利用人数が多い時には前もってスペースを考え、怪我や転倒が起きないように内容で事前に検討している。 ワンフロアだが、パーテーションなどを使い限られたスペースをうまく使っている | 基準上は2.47㎡/人以上となっているので倍以上の面積は確保しているが、運動を行うには恰に越したことは無いため、工夫や片付け等で少しでも活動時広く使用できるよう工夫していきたい。 |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 5 | 2 | 送迎を違う園のお子さまも乗せて回るなどして、車や人員の足りない部分は補えるようにしている。 学校がある間は良いが、小学生が朝から来る休みの期間はもう一人職員が必要だと思う | 長期休み等一日、学童がいる際に難しい時があるため、夏休みを中心に引き続き検討したい。 R8年度に向けて増員をした |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 6 | 1 | 写真を使って物(水筒、靴など)の収納場所を表示している | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 7 | 0 | 集中出来るように子どもの手が届く所には物を置かない プレハブの特性上仕方ないことだが、室内の温度管理が難しい | 今後も室温計など見つつ、適切に運営したい。 |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 4 | 3 | 大きな部屋が一つとなっているので難しい部分があるが、パーテーション等で仕切って個別のスペースを確保したりしている。 個室はない為、パーテーションを活用して、落ち着くスペースを作るように配慮している。 パーテーションはあるが一部屋しかないため、もう一部屋あると良いと思う | 1部屋となっているため、パーテーションをうまく使用しながら使用している。今後も方法を検討していきたい。 |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。 | 6 | 1 | 気になるところがあった時には直ぐに職員間で情報共有を行ったり、目標の評価や次の課題についても相談して目標設定できている。 | — |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 7 | 0 | | — |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 7 | 0 | | — |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 4 | 3 | | — |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 7 | 0 | 研修の機会を多くいただきありがたい | — |
| | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 7 | 0 | 毎月皆で意見を出し合い療育の内容を考えている | — |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 6 | 1 | モニタリングの前には児発管がその子の現状を職員に聞き、それを元に支援計画を作成している | — |
| | 13 | 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 6 | 1 | | — |
| | 14 | 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 6 | 1 | | — |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 7 | 0 | | — |

7

| | | | | | |
|----|--|---|---|---------------------------|---------------------|
| 16 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 7 | 0 | | - |
| 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 7 | 0 | | - |
| 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 7 | 0 | 毎月テーマを決めてそれに沿った活動内容を考えている | - |
| 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。 | 7 | 0 | | - |
| 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 7 | 0 | | - |
| 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 6 | 1 | | 終礼を年度の途中から実施するようにした |
| 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 7 | 0 | | - |
| 23 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 7 | 0 | | - |
| 24 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 7 | 0 | | - |
| 25 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 7 | 0 | | - |
| 26 | 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 7 | 0 | | - |
| 27 | 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 6 | 1 | 小学校等とは行っていない | - |
| 28 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。 | 4 | 3 | | - |
| 29 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。 | 6 | 1 | サマースクールや子ども祭りに参加 | - |
| 30 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 7 | 0 | 毎日の活動記録を保護者に送信している | - |
| 31 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 1 | 6 | | - |
| 32 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 7 | 0 | | - |
| 33 | 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 7 | 0 | | - |
| 34 | 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。 | 7 | 0 | | - |
| 35 | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 7 | 0 | | - |

関係機関や保護者との連携

| | | | | | | |
|----------|----|--|---|---|-----------------------------|--|
| 保護者への説明等 | 36 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 0 | 7 | | - |
| | 37 | こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 7 | 0 | | - |
| | 38 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 7 | 0 | 毎週インスタで活動内容を発信している | - |
| | 39 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 7 | 0 | | - |
| | 40 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 7 | 0 | | - |
| | 41 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 2 | 5 | サマースクールや子ども祭りで地域に施設を開放している。 | R7年度より関連園にて実施しているサマースクール、子ども祭り等に参加し、事業所解放、体験を実施 |
| | 42 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 6 | 1 | | - |
| | 43 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 3 | 4 | | BCPの策定は行い、職員会議時に共有したがまだ不十分な点が認められる。今後の職員会議時に再度共有したい。 |
| 非常時等の対応 | 44 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | 7 | 0 | アレルギー、熱性痙攣など既往歴を一覧表にしている | - |
| | 45 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 7 | 0 | | - |
| | 46 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 7 | 0 | | - |
| | 47 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 7 | 0 | | - |
| | 48 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 7 | 0 | | - |
| | 49 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。 | 7 | 0 | | - |

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日:

事業所名: 放課後等デイサービス クローバーふたば

対象人数(保護者) 24人 回答者数 6人 回収 25%

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | ご意見 |
|----------|--------|---|--|---------------|-----|-------|--|
| 環境・体制整備 | ① | こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 4 | 1 | 1 | | 接触したなどの事例を聞くと、もう少し広い方が走り回れるのかなと思うこともある。少し狭く感じることもある。 |
| | ② | 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 6 | | | | |
| | ③ | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 5 | 1 | | | |
| | ④ | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 6 | | | | |
| 適切な支援の提供 | ⑤ | こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 6 | | | | |
| | ⑥ | 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 6 | | | | |
| | ⑦ | こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。 | 6 | | | | |
| | ⑧ | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 6 | | | | |
| | ⑨ | 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 6 | | | | |
| | ⑩ | 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 6 | | | | |
| | ⑪ | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。 | | 3 | | 3 | |
| 保護者等への説明 | ⑫ | 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 6 | | | | |
| | ⑬ | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 6 | | | | |
| | ⑭ | 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 3 | 2 | | 1 | どんなことだろう?? |
| | ⑮ | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。 | 6 | | | | |
| | ⑯ | 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 6 | | | | |
| | ⑰ | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 6 | | | | |
| | ⑱ | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。 | | 3 | | 3 | |
| | ⑲ | こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 6 | | | | |
| | ⑳ | こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 6 | | | | |
| | ㉑ | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。 | 6 | | | | |
| | ㉒ | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 6 | | | | |
| | 非常時の対応 | ㉓ | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 5 | | | 1 |
| ㉔ | | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 5 | | | 1 | |
| ㉕ | | 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 5 | | | 1 | |
| ㉖ | | 事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 3 | 1 | | 2 | |
| 満足度 | ㉗ | こどもは安心感をもって通所していますか。 | 6 | | | | |
| | ㉘ | こどもは通所を楽しみにしていますか。 | 6 | | | | |
| | ㉙ | 事業所の支援に満足していますか。 | 6 | | | | |

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | | 公表日 | | | |
|---------------------|---|------------|-----|---|---|
| 放課後等デイサービス クローバーふたば | | 2026年3月30日 | | | |
| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 |
| 環境・ 体制 整備 | 1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 3 | 4 | 学年があがるにつれてより広い空間は必要だと感じる。 小学生がたくさん来ると少し狭いと思う ワンフロアだが、パーティションを使用し限られたスペースを区切る等必要に応じて対応している | 基準上は2.47㎡/人以上となっているので倍以上の面積は確保しているが、運動を行うには十分に越したことは無いため、工夫や片付け等で少しでも活動時広く使用できるように工夫していきたい。 |
| | 2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 5 | 2 | 普段は良いが、小学生が朝からくる長期休みは人数が不足だと思う | 同じ規模の他法人事業所と比較すると、常勤割合を高くしているため、情報共有等の面では非常に良い面が出ていると考えています。 長期休み時を鑑み、増員予定 |
| | 3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 6 | 1 | 荷物の整理整頓を一人で出来るように、写真で示している。一日の流れも時計と写真で見える化している | 感覚統合遊具等、大きなものが多いため、難しい面もあるが、パーティション等利用しながら、今後も工夫していきたい。 |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 7 | 0 | 子どもの手の届く所には物を置かない プレハブの特性上仕方がないことだが、室内の温度管理が難しい。 | 今後も室温計など見つつ、適切に運営したい。 |
| | 5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 4 | 3 | パーティションはあるが一部屋しかないので、もう一部屋欲しい | 1部屋となっているため、パーティションをうまく使用しながら使用している。今後も方法を検討していきたい。 |
| 業務 改善 | 6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | 6 | 1 | | - |
| | 7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 7 | 0 | | - |
| | 8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 7 | 0 | | - |
| | 9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 5 | 2 | | - |
| | 10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 7 | 0 | 研修の機会を多くいただきありがたい | - |
| 適切 な | 11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 7 | 0 | | - |
| | 12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 7 | 0 | | - |
| | 13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 6 | 1 | | - |
| | 14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 6 | 1 | | - |
| | 15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 6 | 1 | | - |
| | 16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 7 | 0 | | - |
| | 17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 7 | 0 | 職員全員で話し合い療育の内容を考えている | - |

| | | | | | | |
|--|----|--|---|---|--|--|
| 支 援 の 提 供 | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 7 | 0 | 一ヶ月に一回療育のテーマを変えて療育を行っている | - |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | 7 | | | - |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 7 | | | - |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 6 | 1 | | 長期休み等一日、学童がいる際に難しい時があるため、送迎等を工夫し、時間を確保したい。 |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 7 | 0 | | - |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 7 | 0 | | - |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。 | 6 | 1 | | - |
| | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | 7 | 0 | | - |
| 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 6 | 1 | | - |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 5 | 2 | | - |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | 7 | 0 | | - |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | 6 | 1 | | - |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している | 3 | 4 | 対象者がまだいないが、今後そのような状況になった際は情報提供はしていく必要がある | 対象児童がまだいないため、今後の課題としていた。 |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | 5 | 2 | | - |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | 4 | 3 | | - |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | 3 | 4 | | 管理者が自立支援協議会の委員に半年度よりなっているため、参加している。子育て支援会議は法人内の別の職員が委員となり、参加している |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。 | 7 | 0 | | - |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 2 | 5 | | - |
| | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 6 | 1 | | - |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 7 | 0 | | - |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | 7 | 0 | | - |

| | | | | | | |
|----------|--|--|---|---|-----------------|--|
| 保護者への説明等 | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 7 | 0 | | - |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。 | 0 | 7 | 保護者同士が会う機会がない | - |
| | 41 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 7 | 0 | | - |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。 | 7 | 0 | 一週間に一回インスタをはつわ? | - |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 7 | 0 | | - |
| | 44 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 7 | 0 | | - |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 0 | | | - |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 4 | 3 | | - |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 3 | 4 | | BCPの策定は行っているが、周知、把握に一部課題が認められるため、今後の職員会議時に再度共有したい。 |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。 | 7 | 0 | | - |
| | 49 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 7 | 0 | | - |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 7 | 0 | | - |
| | 51 | 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 7 | 0 | | - |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 7 | 0 | | ヒヤリハットの事例があった際には全体チャットにて共有している。 |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 7 | 0 | | 県にて実施している虐待研修にR6年度は管理者が参加。その後、職員対象に研修実施（2月） |
| 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 7 | 0 | | - | |

保護者等向け 評価表

公表日:

事業所名: 保育所等訪問支援 クローバーふたば

対象人数 (保護者) 7人 回答者数 3人 回収 42.9%

| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | ご意見 |
|--|--|---|---------------|-----|-------|-----|
| 環境・体制整備 | ① 訪問支援に使用する教員教材が整えられていますか。 | 2 | | | 1 | |
| | ② プライバシーに配慮された面投書等が整えられていますか。 | 3 | | | | |
| | ③ 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。 | 3 | | | | |
| | ④ 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。 | 2 | | 1 | | |
| | ⑤ こどもの状態に応じた支援が提供できる職員 (職種や人数) 体制だと思えますか。 | 2 | | | 1 | |
| 適切な支援の提供 | ⑥ こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思えますか。 | 3 | | | | |
| | ⑦ こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画 (個別支援計画) が作成されていると思えますか。 | 3 | | | | |
| | ⑧ 保育所等訪問支援計画 (個別支援計画) には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思えますか。 | 3 | | | | |
| | ⑨ 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思えますか。 | 3 | | | | |
| | ⑩ 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思えますか。 | 3 | | | | |
| | ⑪ 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思えますか。 | 3 | | | | |
| | 保護者への関わり | ⑫ 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 3 | | | |
| ⑬ 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | | 3 | | | | |
| ⑭ 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。 | | 2 | | | 1 | |
| ⑮ 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思えますか。 | | 3 | | | | |
| ⑯ 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | | 3 | | | | |
| ⑰ 事業所の職員から共感的に支援をされていると思えますか。 | | 3 | | | | |
| ⑱ こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていると思えますか。 | | 2 | | | 1 | |
| ⑲ こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思えますか。 | | 3 | | | | |
| ⑳ 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思えますか。 | | 3 | | | | |
| ㉑ 保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思えますか。 | | 3 | | | | |
| 非常時の対応 | ㉒ 保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思えますか。 | 3 | | | | |
| | ㉓ 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。 | 3 | | | | |
| | ㉔ 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思えますか。 | 3 | | | | |
| 満足度 | ㉕ 事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、突撃できるようにしていると思えますか。 | 3 | | | | |
| | ㉖ 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思えますか。 | 3 | | | | |
| 満足度 | ㉗ こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。 | 3 | | | | |
| | ㉘ 事業所の支援に満足していますか。 | 3 | | | | |

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | | クローバーふたば | | 公表日 | | 2026年3月30日 | |
|--------------------------------------|--|---|----|-----|---|--------------------|--|
| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など | 課題や改善すべき点 | |
| 環境 制・ 運 備 営 | 1 | 訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。 | 2 | | | | |
| | 2 | 利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 2 | | 訪問先によって担当職員を変えているので担任の先生と関係も築きやすい。 | | |
| 業 務 改 善 | 3 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。 | 2 | | | | |
| | 4 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 2 | | | | |
| | 5 | 従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 2 | | 訪問支援後は、職員向け報告書を記載しファイリングし共有することができている | | |
| | 6 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | | 2 | | | |
| | 7 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 2 | | | | |
| 適 切 な 支 援 の 提 供 | 8 | 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。 | 2 | | モニタリング時に訪問支援の担当者が同席し保護者の意向等を聞くことができる機会があったことは良かったと感じる | | |
| | 9 | 保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 2 | | ケース会議等で子どもの様子を話し合い課題や支援方法等、話せる機会があることは良いと感じる | | |
| | 10 | 保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。 | 2 | | | | |
| | 11 | 保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 2 | | | | |
| | 12 | 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 2 | | | | |
| | 13 | 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。 | 2 | | | | |
| | 14 | 保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 2 | | | | |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 1 | 1 | 訪問支援には1名で訪問する為チームで連携する、という支援は行ってはいない | 訪問した結果については共有を射ている | |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 2 | | 訪問後、打ち合わせという形ではないが口頭で報告し、後日報告書で職員に把握してもらっている | | |
| | 17 | 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。 | 2 | | 訪問先の担任の先生と話しながら支援を行っている | | |
| 18 | 毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。 | 2 | | | | | |

| | | | | | | |
|--------------|----|--|---|---|--|---|
| | 19 | 定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 2 | | 訪問先の担任の先生とカンファレンスの時間を設け話し合いをし、園の意向や支援方法などを確認している | |
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 2 | | | |
| | 21 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 2 | | | |
| | 22 | 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 2 | | | |
| | 23 | 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。 | 1 | 1 | | |
| | 24 | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。 | | 2 | | 管理者が事理支援協議会の委員のため、毎回、出席している。 子育て会議は法人内の別の職員が参加している |
| | 25 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。 | 2 | | | |
| | 26 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | | 2 | | |
| 保護者等への説明等 | 27 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 2 | | | |
| | 28 | 訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。 | 2 | | | |
| | 29 | 保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 2 | | | |
| | 30 | 「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。 | 2 | | | |
| | 31 | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。 | 2 | | | |
| | 32 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | | 2 | 保護者同士が交流できる機会を設けることは今後、考えていけたらよいと思う | |
| | 33 | こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 2 | | | |
| | 34 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 2 | | | |
| | 35 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 2 | | | |
| | 36 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 2 | | | |
| 訪問先施設への | 37 | 訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。 | 2 | | カンファレンスの時間を設け訪問先の園と話し合いができています | |
| | 38 | 保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。 | 2 | | | |
| | 39 | 保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。 | 2 | | | |

| | | | | | | |
|---------|----|---|---|---|--|--|
| 説明等 | 40 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 2 | | | |
| | 41 | 訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。 | 2 | | | |
| 非常時等の対応 | 42 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 1 | 1 | | |
| | 43 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 2 | | | |
| | 44 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 2 | | | |
| | 45 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 2 | | | |
| | 46 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。 | 2 | | | |

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

2026年3月30日

クローバーふたば

利用児童数

2026年3月1日

回収数 2/3施設

| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|---------|---|----|---------------|-----|--|------------|
| 1 | 訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。 | 2 | | | 子どもの様子や支援方法など、訪問支援の時に話をしてくれました。 現場で取り入れやすいアドバイスで助かっていきます。 | |
| 2 | 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。 | 2 | | | 園での支援方法なども的確にアドバイスをいただきました。 相談しやすいです。 | |
| 3 | 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。 | 2 | | | 相談しやすいです。 | |
| 4 | 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。 | 2 | | | 少しずつですが、子どもの課題が解消している姿が見られました。 | |
| 5 | 事業所からの支援に満足していますか。 | 2 | | | 満足しています。 | |
| その他のご意見 | | | | | ご意見を踏まえた対応 | |
| | | | | | | |